

[サンチャ]

SANCHA

Mar.2020
vol.03

日本大学 三軒茶屋キャンパス 広報誌

スポーツ科学部



SS
COLLEGE OF
SPORTS SCIENCES

[サンチャ]

SANCHA

Mar.2020
vol.03

日本大学 三軒茶屋キャンパス 広報誌

危機管理学部



RM
COLLEGE OF
RISK MANAGEMENT



卒業記念
RM座談会

危機管理学部で学んだ 4年間を振り返る

本学部で専門知識を学んだ学生たちが、新たな道へと進んでいく。今春、卒業を迎える第1期生が小谷賢教授のもとに集まり、4年間の大学生活で感じたことや将来のキャリアについて語り合った。

危機管理学部 教授 **小谷 賢** × 危機管理学部 4年 小島佳那子 / 森 聡 / 黒田 沙織 / 小林 浩也

小谷: まず、この4年間で皆さんが学んだことから聞いてみようかな。
小林: はい、僕は大きく分けて二つあります。一つは、大学での学習を通じて自身をマネジメントする力が身についたことです。日常生活でもリスクに対して意識するようになり、そのリスクを予知して発見し、どう対処するかを考えるようになりました。もう一つは、この学部は知識を得る場が多く、自分自身で物事を調べるきっかけを与えていただいたので、探究心や吸収力が養われたと思います。
黒田: 私は安藤先生の国際法のような、高校までは接する機会が無かった法律やその背景を学べたことが良かったですね。

新聞を読んでも「この国際法は学んだな」「何の話がよく分かる」と、ニュースを知るのが楽しくなったのが一番の学びだと思います。
森: この学部の授業は4年間で学び尽くせないほど様々な分野があり、その一つ一つが知的好奇心を刺激し、学習意欲がとても高まりましたね。僕は主にグローバルセキュリティ領域の授業を履修してきましたが、講義やゼミでの活動を通じて国際問題を多角的に学ぶことができました。その中で、日本の平和や安全が実は当たり前ではなく、能動的に守っていかなければならないと再認識し、それが自分の進路選択にもつながったと思います。
小島: 私はもうシンプルに危機はすごい

身近にあるなというのを、オールハザード・アプローチという学びの中で、体感してきたと思います。災害について深く学びましたが、「もしかしたら震災の被災者になっていたかもしれない」「津波が迫った時どう逃げるのか」と、自分事として考えるようになったことが大きな学びでしたね。



教授 / 小谷 賢
1973年、京都府生まれ。立命館大学卒業。ロンドン大学キングスカレッジ、京都大学大学院修了。防衛省防衛研究所主任研究官、防衛大学校講師等を経て現職。イギリス政治外交史、日英米関係史、インテリジェンス研究を専門とする。

小谷: ありがとうございます。次に、学んできた中で特に印象に残ったことは？
小林: 私はゼミで航空法律を扱っていて、航空機のテロについて調べてみると、9・11事件以降に大きなものは起きていませんが、未遂に終わった事例がたくさん出てくるんですね。アメリカなら航空という観点
「知的好奇心が刺激されて、自ら学習する力が身についた」
からもセキュリティについて学べますが、日本ではそういった学問を学ぶ学校は少ないですから、そうした知見を持った教授が在籍しているのもこの学部の特徴だと思い、ゼミを選んだんですね。
小島: 私は行政法のゼミに所属していて、行政の現場で起こる危機管理について学んできました。その中で、厚生労働省の

母子支援センター設立に関する調査で京都と大阪を回る機会がありましたが、そこで児童相談所の中に入ったり、一時保護されている子供たちとコミュニケーションを取ったりできて…。そういう経験はたぶんもう二度とできない、一生ものの学びになったと思います。
森: 危機管理学部とは少し離れてしまっていますが、大学2年の夏休みに日大の短期海外研修プログラムでケンブリッジ大学に行かせていただきました。現地イギリスの大学生と触れ合えたり、授業やフィールドワークもたくさん行いました。日本では経験できない様々な価値観に接することで、人間的に成長できたと思います。

その短い1カ月という期間で、従来考えなかったことを考えるようになり、自分の中で何かが変わりましたね。
黒田: 私は今年度の三茶祭でゼミの後輩たちが「シン・ゴジラ」について研究発表したことですね。私自身好きな映画なんですけど、ゴジラに対し自衛隊が出動した理由について、「害獣駆除だ」「災害派遣だ」「防衛出動だ」と、今まで静かだった後輩たちが急に意見を出し始めて…。しかも、全員がしっかりと自分の意見を持っていたのが刺激的でした。危機管理をこんなにも面白く学べるんだなと感服したので、とても楽しかったですし、もう少しあの議論を見ていたかったし、自分も議論に入りたかったですね(笑)。



小島 佳那子 / 内定先: 日本放送協会 | 森 聡 / 内定先: 防衛省 | 黒田 沙織 / 内定先: 大東港運株式会社 | 小林 浩也 / 内定先: 東京海上日動火災保険株式会社

「現場を体験して学べたことは財産」

小谷: では、危機管理学部での学びを活かして将来どういう仕事をしていきたいですか？森君は防衛省に入るんだよね。
森: はい、僕はこの4年間で結構成長できたと思っていますが、海外研修やインカレなど様々な活動に主体的に参加することで、挑戦心が芽生え、「挑む力」も身につきました。そうした力を活かして、日本の安全保障分野において役立つ人材になりたいですね。
小林: 私は損害保険会社に入社しますが、10年以内に海外赴任するのはほぼ決まっているんです。そこでは、英語を使うのが当たり前で、より高度な仕事をこなすように求められます。体育会の学生として、スポーツを通じて身につけた物事を戦略的に

捉えて先を読む力を、保険というフィールドで活かしていきたいですし、そこで生まれるリスクを少しでも和らげられるような人間に成長したいと思っています。
黒田: 私は物流業界で貿易に関わる会社を選びましたが、インターンシップで実務を手伝った時に、通関士という職種の仕事を知りました。大学では勉強する楽しさや
「ここでの学びを活かして活躍してほしい」
知識を身につけていく方法を学んだので、先を長く見据えた時に、通関士などの資格取得の勉強ができればいいですね。
小島: 私は放送局に就職しますが、番組作りではなく経営を担う仕事に携わります。そうなると、企業広報論で学んだ

ように、もしもの時にどう対処するかによって社会から信頼を損なわずに済みます。どの職種に就いても同じかもしれませんが、責任感を持って学び、働いていきたいと思っています。
小谷: 1期生の皆さんとは4年間ずっとマンツーマンのようにやってきたので、とても思い出がありますが、ここまでお話を聞いていて、皆さんは社会で十分通用すると思いました。われわれ教員としてはもうできることはありませんので、あとは皆さんがこの学部で培い、養った能力を発揮して、それぞれの道で活躍していただきたいと思っています。

RM Seminar File

危機管理学部 ゼミナール/研究室の紹介③

危機管理学部には、危機管理に関する特殊研究や実務教育を行う28の研究室およびゼミナールがあります。少人数の実践的演習を通じて、危機管理の現場で調整力・交渉力を発揮できる人材の育成を目指しています。



金 恵京 研究室

複眼的な視点でテロ対策を学ぶ



担当教員
准教授 金 恵京

専門/経歴
国際法
テロリズム対策

- ジョージ・ワシントン大学総合科学部専任講師、ウッドロー・ウィルソン国際学術センター研究員、ハワイ大学韓国研究センター客員教授などを歴任
- 2015年 本学准教授に就任

テロリズムは政治性を伴う暴力行為であり、背景の検証が欠かせません。言い換えれば、テロ対策には社会全体を見通す能力も要求されているのです。そこで、本ゼミでは東アジアをフィールドとしつつ、国際法、歴史、政治といった面も踏まえた活発な発表や議論が交わされています。そうした研究活動を通じて、テロの解決に必要な複眼的な視点を培っています。

吉 富 望 研究室

日本と世界の安全保障を考える



担当教員
教授 吉 富 望

専門/経歴
防衛政策

- 元陸上自衛官
- 第1地対艦ミサイル連隊長、防衛大学校教授等を経て2015年より現職

厳しい安全保障環境の中でも安全保障を真剣に考えない、考えることができない、そして平和を唱える…そんな日本人や日本社会を少しずつでも変えていきたいと思えます。ゼミでは日々の安全保障情勢を追い、書籍を読み込み、発表・討議を繰り返して卒業研究・論文をとりまとめます。『平和を欲するなら戦争を理解せよ』(リデル・ハート卿)

福 田 充 研究室

オールハザードなリスクコミュニケーション研究



担当教員
教授 福 田 充

専門/経歴
危機管理学
リスクコミュニケーション

- 東京大学大学院博士課程単位取得退学
- 博士(政治学)
- 元コロンビア大学戦争と平和研究所客員研究員
- 内閣官房有識者会議委員

自然災害、原発事故、テロリズム、ミサイル、戦争紛争、情報セキュリティ、パンデミックなどオールハザード・アプローチによるリスクコミュニケーションの問題について社会調査による実証研究を行っています。ゼミナールでは卒業論文のための個人研究と共同研究を行い、ゼミ生が各自のフィールドに入って実証研究を実施します。

河 本 志 朗 研究室

自主自律：自ら考え、自ら行動し、自ら学ぶ



担当教員
教授 河 本 志 朗

専門/経歴
テロ対策論

- 山口県警察官として21年間勤務し、その間、外務省や警察庁に出向
- 公益財団法人公共政策調査会第二研究室長を経て現職

河本ゼミでは、日本におけるテロ対策などを主なテーマとして共同研究に取り組み、その成果を三茶祭において発表しています。一方で卒論に向けた個人研究のテーマは各自が自由に設定します。ゼミの運営は学生の自主性に任せられており、授業や合宿の運営、共同研究のテーマの選定や研究の進め方など、すべて学生が議論しながら進めています。

山 下 博 之 研究室

防災・減災の取り組みに現れる社会の姿を考える



担当教員
専任講師 山 下 博 之

専門/経歴
公共政策学
防災政策

- 明治大学大学院博士後期課程単位取得退学
- 明治大学政治経済学部助手
- (一財)日本防火・危機管理促進協会主任研究員
- 2016年より現職

山下ゼミは、災害や減災を手がかりに社会のあり方を探求することを目的としたゼミです。毎年ゼミ合宿は被災地で行います。昨年度は宮城県南三陸町、今年度は岡山県倉敷市を訪れ、被災した地域を視察し関係者の話を聴取しました。こうして資料やデータには決して表れない災害の姿を踏まえ、学生たちは共同研究や卒論研究を通じてそれぞれ社会のあり方を探求しています。

茂 田 忠 良 研究室

日本人として危機対処に必要な「人間の軸」を造ろう



担当教員
教授 茂 田 忠 良

専門/経歴
警察行政
インテリジェンス

- 1975年 警察庁入庁
- 群馬・埼玉県警察本部長、政策評価審議官等を歴任
- 防衛庁情報本部電波部長、内閣衛星センター次長を歴任
- 2015年 本学教授に就任

警察庁に入庁して34年間。警察の現場や大使館、防衛省、内閣官房、国際業務など多様な経験をしましたが、危機的な状況で力を出す人とそうでない人を見てきました。重要なのは「人間の軸」です。本ゼミでは、警察、危機対処、日本の文化と歴史と美点、米国中国の社会体質などに関して読書やDVD鑑賞により、「日本と世界」を知って「人間の軸」の基礎作りをします。

宮 脇 健 研究室

リスク社会について考える



担当教員
専任講師 宮 脇 健

専門/経歴
リスクコミュニケーション
災害情報

- 日本大学法学部助手
- 日本大学総合科学研究所専任講師
- 日本大学危機管理学部専任講師

宮脇ゼミナールはリスクが偏在化する社会とはどのような社会なのか研究を行います。具体的には、世田谷区内の都市公園の防災機能、バリアフリー設備に関する利用者へのアンケート調査を実施することで社会の抱える問題について明らかにします。また、砧公園の防災フェスタで学生が企画を運営することで、その学びの実践をしています。

中 村 良 研究室

企業の危機管理の研究



担当教員
教授 中 村 良

専門/経歴
企業法/経済法/民法/金商法等

- 日本大学法学部法律学科卒業(法学士)
- 日本大学法学部大学院博士前期課程修了(法学修士)
- 日本大学法学部非常勤講師
- 朝日大学法学部専任講師
- 朝日大学法学部准教授
- 名古屋大学非常勤講師
- 朝日大学大学院法学部研究科准教授
- 日本大学危機管理学部教授
- 日本大学大学院総合社会情報研究科教授

中村ゼミでは、企業不祥事を主な題材として、危機管理の観点から、ゼミ生各自が調査・分析・報告・討論を行っています。ゼミ生は、討論で必ず発言を求められることが中村ゼミの一番の特徴です。討論でお互いに意見を出し合うことで積極性を身に付けるとともに幅広く厚みのある知識や分析力を養っています。ゼミでの経験が、就職活動に役立っているとゼミ生は感じているようです。

RM Seminar File

上野 幸彦 研究室

リスク社会と法システム



担当教員
准教授 上野 幸彦

専門 / 経歴
刑法
担当科目:「社会安全と法」
「犯罪と法I・II」
■ 1987年 日本大学法学部助手
その後、日本大学法学部、
理工学部等の講師
■ 2017年 日本大学危機管理
学部准教授

急速に変化する現代社会の課題の中から、ゼミ生が選択、研究したテーマについて報告を行い、とくに法の観点から相互に議論する場として、ゼミの時間を位置づけています。危機管理に関する専門科目での知見を踏まえて、安全な社会環境のもとで、誰もが自由に安心して生きるためにどうすればよいのかを、皆で議論し考えます。とくに被害の事前予防と事後のマネジメントにおける法の意義・機能について考えて欲しいと思っています。

高宅 茂 研究室

出入国在留管理



担当教員
教授 高宅 茂

専門 / 経歴
行政法
出入国管理及び難民認定法
■ 元法務省入国管理局長
■ 2015年 本学教授に就任

外国人の受入れ政策とその実現の枠組みとなっている出入国在留管理法及びその実施を担当する出入国在留管理行政について、現状と今後の展望、課題などについて研究しています。具体的なテーマを設定し、そのテーマについての受講生の発表を受けて議論をしながら研究を進めており、関係する論文の購読等も行っています。

“危機管理”を 見て聞いて知って!

公開講座「外国人材の受入れに関する政策・制度の変化と今後の課題」 講師/危機管理学部教授 高宅 茂

外国人の受入れに関する基本法となっている入管法(出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号))の平成元年法律第79号による改正で、専門的技術、技能、知識等を要する業務に従事する外国人就労者を受け入れるという政策が、法制的に確立されました。その際、技能就労者の受入れも狭い範囲に限定されることとなります。その後、近年になって、外国人の受入の拡大が進められてきており、「経済財政運営と改革の基本方針2018」において外国人技能者の受入れを拡大することが定められ、平成30年法律第102号による入管法の改正で、「特定技能」が新設されました。今後、人口減少などを背景に、さらに外国人就労者の受入れの拡大が進むと予想され、受け入れた外国人の長期的な生活を前提とした生活基盤の整備が必要となると考えられます。



公開講座「地球と都市の気候変化」 講師/危機管理学部准教授 山添 謙



本講座では、地理学の立場から気候と人間社会との関係について基本的視座を示し、以下の点について論じました。まずは20世紀後半に世界で都市化が進み、日本においても人口集中地区の人口率が約7割(2015年)に達しているため、現代人の大半が都市問題に関与していることとなります。次に都市問題の1つが都市の温暖化であり、東京では20世紀に年平均気温の2~3°Cの上昇がみられました。日本の大都市では冬季に加え夏季にも都市温暖化の影響が現れており、気温が下がりにくく湿度が高い夜間にも熱中症のリスクが増大しています。最後に地質時代以降の気候変化と比して、現在の地球温暖化は急激です。急激な気候変化は地球生態系に深刻な影響を与え、結果的にカタストロフィーをもたらす可能性が高いと考えられます。2つの温暖化に「利便性・快適さ」を追求する都市型のライフスタイルが強く関係しています。

就活 レビュー 未来へはばだけ、危機管理学部1期生たち!

(就職内定者紹介)

特色ある学部。その強みを活かして。

1期生ということもあり、学部生として初めて就職活動に臨む貴重な経験ができたと思います。採用面接では、他大学や他学部のように先輩方が作り上げた実績がない中、面接官にすれば聞き慣れない「危機管理学部」という学部で学んできたことをどのように伝えるか、という点に苦労しました。その一方で、実際に起きた災害などを学んできたので、面接官と実務的な話で盛り上がる事ができたのは、この学部ならではの強みだと思います。大学生生活は楽しくて本当にあつという間です。後輩の皆さんは、今だからできること、この学部だからこそできることをたくさん経験し、それらを糧に就職活動を乗り切ってください。



危機管理学部 4年 橋口 瑞紀

町田市役所に
内定!



危機管理学部 4年 小原 昂也

日本電気株式会社
(NEC)に
内定!

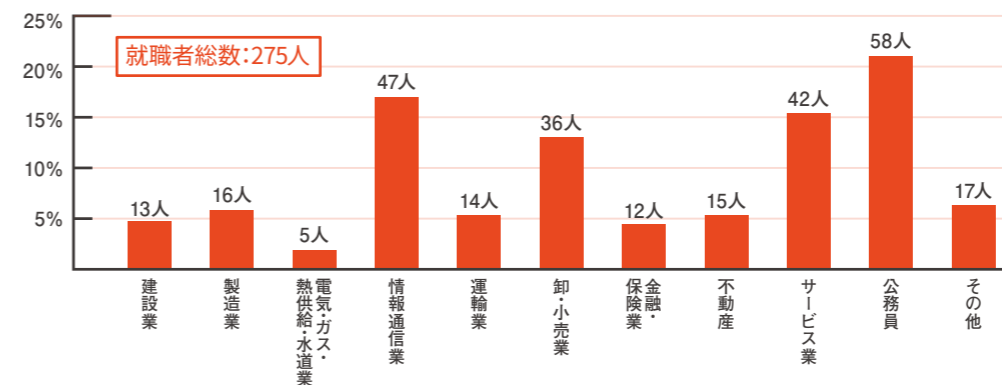
支援制度を、積極的に活用して。

就職活動へ臨むに際して、お手本となる先輩方がいなかったため少し不安もあり、手探りの中、苦労することも多かったです。しかし、学部での学びで得た「安全で便利な社会を実現したい」という強い思いを持ち続けて頑張りました。また、就職活動を通じて、危機管理という学問が社会から求められているものだと感じました。学部の1期生という特徴は、他の学生との差別化を図りやすく、武器にもなりました。新設学部ということで、不安を感じている後輩の皆さんも多いかと思いますが、大学の支援制度や先生方からのアドバイスも手厚いので、それらも活かしながら自信を持って就職活動に臨んでいただきたいと思います。

就職データ@RM

危機管理学部第1期生の就職実績をご紹介します。

業種別就職状況 ※2020年2月現在



「公務員」「情報通信業」をはじめ、幅広い業種に就職しています。

主な就職先

大和ハウス工業(株)、ニッタン(株)、(株)協和エクシオ、(株)伊藤園、(株)重松製作所、ダイハツ工業(株)、日本電気(株)、日本ドライケミカル(株)、ヤマトプロテック(株)、東京電力ホールディングス(株)、東映(株)、日本コムシス(株)、日本放送協会、(株)東計電算、都築電機(株)、全日本空輸(株)、ANAウィングス(株)、(株)JALスカイ、日本通運(株)、東日本旅客鉄道(株)、北海道旅客鉄道(株)、丸井グループ、(株)ヤナセ、(株)ローソン、(株)東急ストア、(株)ゴールドウイン、エプソン販売(株)、日本原子力防護システム(株)、東京海上日動火災保険(株)、日本生命(相)、東京東信用金庫、(株)エイブル、スターツコーポレーション(株)、住友不動産販売(株)、東急不動産(株)、野村不動産パートナーズ(株)、セコム(株)、総合警備保障(株)、(一財)成田国際空港振興協会、(株)博報堂プロダクツ、(株)阪急交通社、(株)マイナビ、(株)横浜スタジアム、羽田空港国際旅客サービス(株)、国土交通省、防衛省、自衛隊、新宿区役所、板橋区役所、神奈川県庁、警視庁、東京消防庁 他

SANCHA MEMORY

三軒茶屋キャンパスが誕生したのが2016年のこと。それ以来4年の歳月が経過し、たくさんの思い出がつけられたことでしょう。第1期生として開校と同時に入学し、卒業を迎える皆さんへ。スポーツ科学部長の小山裕三教授、危機管理学部長の福田弥夫教授よりお祝いのメッセージをお届けします。

危機管理学部長 教授
福田弥夫

2016年4月の開校式から4年が経過し、記念すべき第1期生の皆さんをキャンパスから送り出す時を迎えました。皆さんの卒業を心からお祝い申し上げますとともに、ご父母の皆様にもお祝いの言葉を送ります。

日本初の文系危機管理学部における学びは、新しい領域への果敢な挑戦を試みた皆さんにとって、充実感あふれるものであったと自負しています。危機管理学は発展を続けており、ここでの学びを基礎にさらに大きく成長してください。危機管理学部もさらなる進化を続けて行きます。輝かしき第1期生であることを誇りに、社会で思う存分活躍してください。



スポーツ科学部長 教授
小山裕三

4年生の皆様ご卒業おめでとうございます。また、その保護者の皆様にも心よりお祝いを申し上げます。

2016年に開学した本学部において、今年度1期生を無事輩出することとなりました。これもひとえに保護者の皆様を含め多くの方々にご支援いただいた結果であると存じております。また、2期生、3期生と続く中で、今後も卒業生が日本大学スポーツ科学部を卒業したんだと胸を張って社会に出ていけるよう学習環境を整え、在籍学生が充実した大学生活を送れるよう努力してまいります。今後ともご支援の程よろしく申し上げます。



プレイバック!

“SANCHA”で過ごした4年間



1月
キャンパス竣工
三軒茶屋の地に
新たなキャンパスが誕生。



4月
開校式
第1期生の入学とともに
新たな歴史のスタートです。



11月
第1回
“三茶祭”
楽しい企画が
たくさんあって、
大盛況でした。

日々の授業
内容をしっかりと
理解しながら
知識を吸収していく。



ゼミ・研究室
それぞれ
専門分野の研究を
進めました。



1月
就活出陣式
就職活動の本番を
控えて出陣式を開催!



1月
卒論・卒研発表会
これまで取り組んできた
研究の集大成がここに。

3月
卒業式
第1期生が
大学生活を終えて
新たな進路へ。

TO BE
CONTINUED

2016

2017~2018

2019

2020

強い責任感で、お客様のために頑張りたい。

私はこれまで陸上競技の砲丸投に打ち込んできました。大学では陸上部の副主将として、部員をまとめる役割を担ってきましたが、寮での生活においても、後輩の手本となれるような行動を意識するのは大変でしたね。日常生活が競技の成績にも影響するので、少し口うるさく注意しました(笑)。責任ある立場を経験したことで、人間性を養い高めることができた実感しています。

内定をいただいたのは鉄道会社です。もともと電車は好きでしたが、自分の長所である責任感の強さが活かされると考えて、鉄道業界に絞って就職活動を進めました。携わるのは電車の運行を管理する業務なので、電車が平常通りスムーズに走るように裏方としてしっかり支えていきたいと思っています。スタッフ同士で連携して仕事をしていく上では、部活動や寮生活で学んだチームワーク力を存分に発揮していきたいですね。

就職活動も競技と同じで目標に向かって準備をし、目の前の課題をコツコツとこなすことが大切です。後輩のみなさんには内定の先にある未来を想像し、辛いことがあっても必ず乗り越えられると信じて、一日一日を大事にしてほしいですね。それが、結果的に就職活動の成功につながると思います。



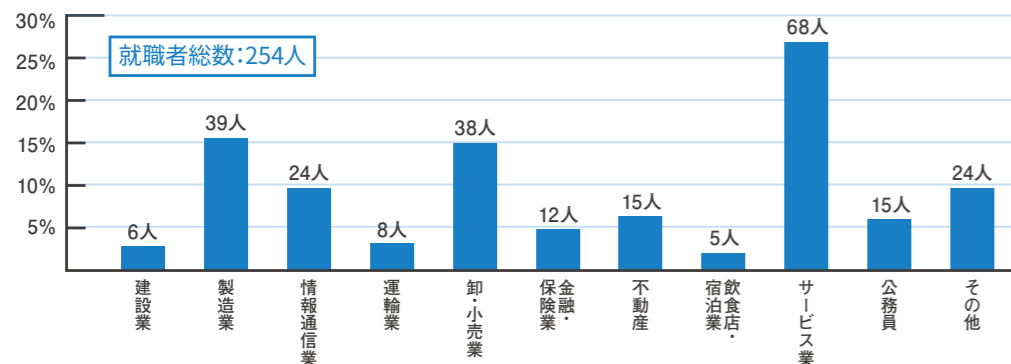
スポーツ科学部4年 秋場 康太

横浜高速鉄道
株式会社に
内定!

就職データ of SS

スポーツ科学部第1期生の就職実績をご紹介します。

業種別就職状況 ※2020年2月現在



「サービス業」が、特に高い比率を示しています。

主な就職先

大和ハウス工業(株)、大東建託(株)、(株)キーエンス、日立化成(株)、(株)日立ビルシステム、日本製鉄(株)、ヤマハ発動機(株)、大同特殊鋼(株)、楽天(株)、東日本電信電話(株)、富士ソフト(株)、(株)ジュビターテレコム、日本航空(株)、北海道旅客鉄道(株)、ゼビオホールディングス(株)、(株)大塚商会、(株)ノジマ、丸井グループ、(株)ヴィクトリア、国分グループ本社(株)、スターゼン(株)、(株)ヤナセ、(株)メガスポーツ、(株)りそな銀行、(株)西日本シティ銀行、城南信用金庫、日本郵便(株)、ソニー損害保険(株)、住友不動産販売(株)、三井不動産リアルティ(株)、東急リバブル(株)、ザ・リッツ・カールトン東京、日本写真判定(株)、(株)ノバレーゼ、(株)星野リゾート、軽井沢事業所、コナミホールディングス(株)、セントラルスポーツ(株)、(株)マイナビ、(株)LAVA International、横浜高速鉄道(株)、プリチストンサイクル(株)、Lリーグバニーズ京都SC、(株)電通東日本、陸上自衛隊、航空自衛隊、福島県庁、小田原市役所、静岡県警、東京消防庁、法務省刑務官(北海道)、プロボクサー、プロゴルファー 他

SS SEMINAR

スポーツ科学部
ゼミナール紹介

実践栄養学 ゼミナール

担当教員

辰田 和佳子 准教授

資格・経歴

管理栄養士
公認スポーツ栄養士



栄養・食生活における課題解決を目指した実践的な研究活動

スポーツ選手にとってコンディショニングは重要です。その要素である栄養・食生活について現場的な視点から課題を抽出し、整理し、根拠をもって改善に向けた取り組みを進めていきます。学生は自分の所属する部活や協力チームといった各フィールドで主観的に捉えた栄養・食生活の課題を客観的に明らかにすること、さらに食教育や環境面での介入による効果検証を目指しています。

研究だけではなく、競技者やその他学生への支援として、レシピ作成も行っています。ひとり暮らしや寮生活者でも簡単に、美味しく、主食・主菜・副菜が揃ったバランスのよい食事ができるようアイデアを出し、かたちにします。研究もサポートも、「誰に」「いつ」「どのように役立つのか」を常に考え、行動していくことを目標としています。

スポーツ科学部授業紹介

スポーツ運動学原論

スポーツ科学部 本道 慎吾 専任講師



本講義は、現象学的立場から人間の運動の構造と発生について、運動モルフォロジーの方法を基に進められてきたスポーツ運動学研究の観点から、運動質や運動観察、運動学習、運動の発達、運動指導の方法について学びます。

メンタルマネジメント演習

スポーツ科学部 種ヶ嶋 尚志 准教授



試合や本番で実力を発揮するためには、こころを強化することも大切な事柄の一つです。本演習では、心理的課題への対処を目的として、こころをコントロールする能力を高める呼吸法やリラクゼーション技法、瞑想、イメージトレーニング、認知行動療法などを実践し、自己分析を通してこころを強化する方法を学びます。



HIGH JUMP 走高跳

高橋 渚 スポーツ科学部 2年

①洋画 ②英語 ③自分で決めたことに向かって迷いなく挑戦することです ④保育士をやってみたい



- 2018年:第102回日本陸上競技選手権大会 2位
- 2019年:第88回日本学生陸上競技対校選手権大会 優勝



JUDO 柔道

村上 優哉 スポーツ科学部 2年

①休日のショッピング ②スポーツ生化学
③平常心、執念 ④柔術、格闘技



- 2017年:全国高等学校総合体育大会柔道競技大会73kg級 優勝
- 2018年:全日本ジュニア柔道体重別選手権大会73kg級 3位
- 2019年:オーストラリアジュニア国際大会73kg級 3位

ピックアップ・アスリート

PICK UP ATHLETE

世界の舞台で戦うトップアスリートを多数輩出してきた日本大学。そんな先輩たちに続き、現在数々の国際大会で活躍しているスポーツ科学部の現役学生を紹介します。

①いま興味があること ②好きな科目
③好きな言葉/心掛けていること ④競技以外でやってみたいこと ■主な競技成績ほか ※競技成績は2020年1月末現在



WEIGHTLIFTING 重量挙げ

山根 大地 スポーツ科学部 3年

①車 ②スポーツに関わる科目全般 ③全力/1日1日を大切にしている ④特にありません、スポーツをやっていることが生きがいです



- 第64・65回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 優勝(2連覇)
- 2019年:第79回全日本ウエイトリフティング選手権大会 2位、第15回全日本学生ウエイトリフティング選抜大会 優勝



SWIMMING 競泳

小堀 倭加 スポーツ科学部 1年

①映画やドラマを見ること ②競技スポーツ実習、競技スポーツ習得実習 ③あわてず、あせらず、あきらめず ④ピアノ、バスケットボール



- 2019年:日本選手権水泳競技大会 800mFr 2位・1500mFr 優勝、ユニバーシアード競技大会 800mFr 優勝・1500mFr 優勝、日本学生選手権水泳競技大会 400mFr 優勝・800mFr 優勝、国民体育大会 400mFr 優勝、クイーンズランド選手権 800mFr 3位(派遣標準記録突破)

自分と向き合い、自信をつかんだ4年間でした。

JAVELIN THROW 陸上 女子やり投・日本記録保持者

北口 榛花 スポーツ科学部4年

大学4年間で一番の思い出は、やはり日本記録を2度出せたことですね。入学後は記録が伸びなかったり、ケガをしたりと苦しい時期もありましたが、先生方をはじめ周りの人に積極的に相談し、助言を頂いて乗り越えてきました。いろいろな話を聞いて、そこから自分にあったものを探していけるようになったのが大きな成長です。また、外国人コーチの指導を仰ぐため、一人でチェコに渡って数ヶ月を過ごすという行動力だったり、試合中でも自分の悪い点に気づいたら、その直し方をわかっている自分で修正できるようになってきたり…、それまでできなかったことができるようになったという点も、記録に結び付いているんだと思います。卒業後は、競技においても社会人としてもさらに成長して、東京五輪の表彰台を目指します。

- 2018年:第87回日本学生陸上競技対校選手権大会 優勝、第73回国民体育大会 優勝
- 2019年:木南道孝記念大会 優勝(64m36cm・日本新記録)、ドーハ世界陸上選手権 出場、第41回北九州陸上カーニバル 優勝(66m00cm・日本新記録)



祝・卒業!
進路/日本航空 (JALアスリート社員)

DANCE SPORT

競技ダンス国際大会
(Asian single dance championships 2019)
ラテン部門3種目(サンバ、チャチャチャ、ジャイブ)

八谷和樹選手(3年)が金メダル獲得!
2019.Oct.

CLIMBING

世界ユース選手権
ジュニア男子ボルダリング

天笠 颯太選手(1年)が金メダル獲得!
2019 Aug.

CLIMBING

リードクライミングW杯
中国・厦門大会

本間 大晴選手(2年)が銀メダル獲得!
2019 Oct.

FLASHNEWS

東京五輪を目指す
スポーツ科学部のアスリートたちが
国内外の大会で成果を挙げています!

沢田桂太郎×井上由大



挑戦を続ける姿勢でいたい。

スポーツ科学部の第1期生として入学した沢田桂太郎選手。大学の自転車部で競技を行うと同時に、チームブリチストンサイクリングにも所属する。1年生の時にナショナルチームに選出されたことで、日本を代表するアスリートへ。この春卒業を迎えるにあたって、恩師である井上監督とともに大学時代を振り返ってもらった。

撮影場所：日本大学三軒茶屋キャンパス学生ホール

「世界という目標を常にもってほしい」

沢田：何でもかんでも楽しもうとしてしまうので、競技会場に行くと普段会えない人がたくさんいると話し込んで。オフの期間でも精神的にリフレッシュしたいと思いい、アクティブに動きすぎたので、何度か監督に注意されました(笑)。

—心残りは何がありますか？—

沢田：インカレの個人種目で一度も勝てなかったのは悔が残りますね。全日本選手権では勝っているのに、試合のタイミングやプレッシャーもあって、自分の力を全て発揮できずに勝てないことが多くて悔しかったです。インカレだけ駄目なんです、毎回。

井上：ナショナルチームのスケジュールの中で、冬場のW杯世界戦に向けて一度調子が落ちる時期とインカレの開催時期がちょうどぶつかったので、やむを得ないかなと。3年生の時のインカレもアジア大会出場を優先させたことで、ナショナルチームの合宿で同じ会場にしながら試合には出ていないしね。

沢田：確かにそれが一番、悔しかったかも知れません。目の前で大学のみんなが走っているのに、自分は参加できなくて本当に歯がゆいというか…。精神的にも成績的にも落ちて、本当にナショナルチームを辞めてやろうかと思って監督に相談しましたが、怒られました(笑)。

井上：「ふざけんな」ってね。世界を目指すために日本大学に入学したんだから「目標は常に高いところに置け」って。

沢田：ほぼその一言でしたが、それが重たくスッと響きました。

—学生生活についてはどうですか？—

沢田：学業の面では、レポートの提出が夜中まで掛かることもあり大変でしたが、それは自分が競技を続けるために必要なことだからと頑張って取り組んできました。勉強のやり方については、監督やコーチ、

「全日本を外された悔しさ」



「全日本を外された悔しさ」

教職員の方に「こうしたらいいよ」とアドバイスをいただき助かりました。あとは、競技や勉強だけでなく、大学の仲間と遊びに行くなど大学生らしいことも少しはしてみたいかなと思います。ただ、今の生活が充実していると思えるので、結局は良かったのかなと思います。

—自転車競技の魅力はどこですか？—

沢田：結局スピードになりますが、人の力でも走るより速く移動できるのが魅力です。もちろん、つらい部分もあるし、どんな競技でも同じでしょうが、勝った時の気持ちよさを一度知ってしまうとやめられなくなるといいます。

—今後の目標を教えてください。

沢田：今のチームバシユートランキングだと東京五輪出場は厳しいかも知れませんが、2020年2月の世界選手権(ベルリン)で上位に入ればまだ可能性もあるので、挑戦続ける姿勢は持っていたいんです。少なくとも自分たちの記録を更新しないといけない。世界はそれ以上に速くて壁は厚いですが記録をしっかりと更新して、少しでも世界に近づけるような走りをしていきたいですね。それが次のパリ五輪にも続いていくと思うので。



井上由大 [いのうえよしひろ] YOSHIHIRO INOUE
1961年生まれ。神奈川県出身。1983年商学部卒。日大3年時に全日本大学選手権のチームロードレースで優勝を果たし、4年時はユニバーシアード代表。卒業と同時に自転車部コーチに就任し、2004年4月から監督に就任。2012年には前人未踏のインカレ30連覇(通算50回)を達成。2017年に5年ぶりとなる大学日本一にチームを導いた。三軒茶屋キャンパス設立時より職員として勤務する。

—井上監督から沢田選手へエールを。

井上：まだ東京五輪へのチャンスがあるのだから、絶対に目指して頑張ってもらいたいね。本来、能力がとて高い選手なので卒業してからは個人種目のほうでも頑張ってもらいたい。

沢田：僕のメインはトラック競技ですが、ロードの方でもアンダーカテゴリーで全日本を勝ってきました。2019年のU-23全日本では2位でしたが、2020年はそこを勝って、さらにエリートでも勝って全カテゴリー制覇を目指したいですね。

井上：ここまで陰で支えてくれた同級生や周囲の人たちへの感謝を忘れずにやってほしい。卒業するまでは苦言や文句しか言わないけれど、卒業したら所属チームの中でやっていかなくちやいなんで。

沢田：何か迷ったらメールします(笑)。確かに、今後はチームでの責任も変わってきますし、大学にはもう甘えられない。チームとはいえ、やっぱり自分自身で自立していかなければいけないと思っています。

—期待しています。ありがとうございます。

—4年間で印象に残っていることは？
沢田：本当に波乱万丈で、いろいろなことが詰まった4年間だったと思います。一番印象に残っているのは2年生になってすぐの頃、一度ナショナルチームを外された時ですが、2ヶ月ぐらいの短い期間のことですが、その時はかなり焦りました。競技者としても調子がダウンと落ちたので、一緒に頑張っている人たちが活躍しているのに、自分だけ低迷しているのがすごく悔しかったですし、一番記憶に残っています。ナショナルチームに戻りたかったので、それに向けて大学で頑張ったことですが、すぐに復帰できませんでした。

—日大に入り成長したと思えるところは？
沢田：これって言うのがすごく思いつかないんですけど。成長しましたかね(笑)。

井上：技術的にはある程度、仕上がりが入学してきたのですが、まだ全体的に細かった。それがだんだん線が太くなってきましたね。まだまだ余力はあるので、成長過程を見てきただけだと思っています。これから先が本場の勝負だと。精神的に波がちょっとあるので、そういう時は落ち着いて休養を取るようになっていきますが、なかなか取れないタイプですね。ただ、落ち着きがないところは成長してないですけど(笑)。



沢田 桂太郎 [さわだ けいたろう] スポーツ科学部4年 KEITARO SAWADA
1998年生まれ。宮城県出身。東北高校卒。トップアスリート推薦入学。チームブリチストンサイクリング所属。高校時代はジュニア日本代表として活躍。日大入学後、2016年の全日本学生選手権・スプリント優勝、JOCジュニアオリンピック・スプリントおよび3km個人追い抜きで優勝。2017年よりナショナルチームに入り、12月のUCIトラックワールドカップ第4戦・団体追い抜きで史上初の銀メダルを獲得(日本記録)。2018年、アジア選手権では団体追い抜きで金メダルを獲得。2019年、全日本トラック男子エリート1kmタイムトライアルで大会記録を更新し2連覇を達成した。

PICK UP COLUMN

W杯で日本新記録樹立に貢献!

2019年12月のトラックW杯ニュージーランド大会で、チームパシュートに出場した日本チームは7位。しかし、沢田選手(写真左)、近谷涼選手(写真右端、日大OB)らの快走で自身が持つ日本記録を1秒以上も更新した。

9月の全日本選手権決勝でも日本新を出していたんですが、その時僕は予選は出たのに決勝はメンバーから外れていて…。だから今回、自分が走った中での日本新だったのでうれしかったですね。

